ねづっこ園長室だより　No４



令和８年11月13日
文京区立根津幼稚園
園長　小島　喜代美

日頃より本園の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
朝晩の冷え込みに秋の深まりを感じる頃となりました。自然に恵まれている根津幼稚園。弥生の森の大きな銀杏の木は、冷え込みとともに少しずつ葉が色づいてきています。子どもたちが季節の変化を感じる大切な自然環境が間近にあることに感謝しています。
さて、１０月１７日（土）の運動会では、３名の５歳児ほし組が根津幼稚園のリーダーとして、自分たちの競技や演技はもちろん、司会や係の仕事も生き生きと頑張ってくれました。
今回は、５歳児ほし組が育てて収穫したポップコーンを使って、ポップコーンパーティーを行った様子をお知らせします。

５歳児ほし組は、６月８日にポップコーンの種をまき、毎朝水やりを続けて育ててきました。実ったポップコーンを９月３０日に収穫し、保育室につるして乾燥させてきました。



種から育てたポップコーンが
こんなに大きくなりました







収穫したポップコーンの皮むき





友達と協力して収穫したポップコーンの種取り
たくさん採れるといいね



ほし組につるして
乾燥させました

ポップコーンパーティー開催　１１月１１日（水）

【ポップコーン作り（調理）】
そして、いよいよ楽しみにしていた「ポップコーンパーティー」の始まりです。
初めに５歳児ほし組は、先生が調理するポップコーンの様子を見ました。先生が掲示した調理の手順を見ながら、真剣な表情でわくわくしながら先生の話を聞いていました。先生から「もっと近くに来て見ていいよ。熱いから触らないでね」と声が掛かると、わくわくしながらフライパンの中の様子を見ています。フライパンが温まってくると「ポン」と、ポップコーンの種がはじけて白くふんわりした形に変わっていきました。「わー」と思わず声を上げ笑顔が溢れる子どもたち。次々と種がはじけて白いポップコーンに変身。「いい匂い」「おいしそう」と満面の笑みの子どもたち。







ポップコーンが完成



塩味を付けて





できたてのポップコーンを味見

隣でできたてのポップコーンに塩味を付けていた園長が「せっかくだから、できたてのポップコーンを食べてみる？」と言うと、「食べてみたい」と子どもたち。手のひらに乗せてあげると、「いただきます」「おいしい」と至福の表情を浮かべていました。これから始まるポップコーンパーティーのお店を開店するパワーになったようです。

【いよいよポップコーンパーティーのお店が開店】

できあがったポップコーンを自分たちで紙コップに入れて、テーブルに並べていきました。チケットも受け取れるように入れ物も準備しました。





【初めのお客さんは３歳児りす組】

りす組は、昨日、ほし組からもらったチケットを大事そうに持って来ました。
「いらっしゃいませ。並んでください」と声を掛けるほし組。初めはチケットを受け取り、ポップコーンを渡すことに戸惑う様子もありましたが、少しずつ慣れてスムーズになりました。「お代わりもありますよ」と声を掛ける頃には、余裕すら感じました。





ほし組の話を聞き、並んでポップコーンをもらうりす組





ほし組の保育室がポップコーンパーティー会場になり、「おいしい」と笑顔のりす組の子どもたち

【次のお客さんは４歳児はな組】

はな組も、昨日、ほし組からもらったチケットを大事そうに持って来ました。
ほし組のいるテーブルには、何と本物のポップコーンがあります。「いい匂い」「おいしそう」と言うはな組の子どもたちから、わくわくした気持ちが伝わってきます。ほし組も、この頃になると接客にも慣れてきた様子です。スムーズな受け渡しをしていました。





本物のポップコーンを見て驚いているはな組の子どもたち





お代わりも積極的　はな組からは「明日も食べたい」の声も




作り方の掲示に興味津々なはな組



お礼も自分たちから

【最後は職員室の先生たち】



大人チームも応援団



【ようやく、ほし組の子どもたちの順番に】




先生と一緒にやり遂げた
ポップコーンパーティー
ほし組３人と先生が食べている
雰囲気に大きな成長を感じました



頑張ったほし組の子どもたちのお代わりは、園長から
紙コップに山盛りであげました。「ありがとう」と大喜び





仕事の後のポップコーンは
おいしいね。

種から育てたからこそ分かる
食の大切さや感謝の気持ち